

## 目 次

### 揚水発電技術

電気協同研究会主催  
揚水発電技術に関する座談会

開会挨拶	吉田 確太氏	( 3 )
司会挨拶	井上 力氏	( 3 )
講演		
1 揚水発電の現状と今後の趨勢について	桑原 進氏	( 3 )
1-1 揚水発電所の歴史		( 3 )
1-2 揚水発電所の運用		( 4 )
1-3 ポンプ水車揚程の推移		( 5 )
1-4 発電電動機出力の推移		( 5 )
1-5 揚水発電所の今後の課題		( 6 )
2 揚水発電所計画について	大野 大明氏	( 7 )
2-1 揚水発電の種類		( 8 )
2-2 揚水機器の特質		( 8 )
2-3 高落差化にともなう問題点		( 9 )
2-4 地下発電所設計上の問題点		( 10 )
2-5 揚水容量		( 11 )
(予稿) 揚水発電所計画について		( 11 )
(1) 調査設計における最近の技術進歩		( 11 )
(2) 揚水発電の種類		( 11 )
(3) 機器の特質		( 12 )
(4) 機器設計と土木調査		( 13 )
(5) 高落差化にともなう問題点		( 13 )
(6) 地下発電所設計上の問題点		( 14 )
(7) 揚水容量		( 15 )
3 揚水発電所建設上の課題について	金子 喜太郎氏	( 16 )
3-1 ダムの建設		( 16 )
3-2 発電所の建設		( 19 )
3-3 水路の建設		( 20 )
3-4 公害安全対策		( 20 )
4 揚水発電所の運用上の課題および将来の考え方について	吉本 太司夫氏	( 21 )
4-1 概要		( 21 )
4-2 水力機の利点		( 22 )
4-3 水力機(揚水発電)の運用		( 23 )
4-4 揚水発電の建設単価の考え方		( 25 )
5 揚水発電(主としてポンプ水車)に関する研究について	秋元 徳三氏	( 28 )

5-1	相似則一般	( 28 )
5-2	水車の相似則とレイノーズ数について	( 29 )
5-3	管路内流れとフルード数	( 29 )
5-4	圧力脈動、水撃作用	( 29 )
○ 質疑応答(1~4関係)		( 30 )
永瀬直昭氏	大野大明氏	( 30 )
樺博氏	吉本太司夫氏	( 32 )
吉田確太氏	金子喜太郎氏	( 32 )
吉田座長		( 32 )
桑原進氏		( 32 )
吉田確太氏		( 33 )
6	最近のポンプ水車について	長沼進氏 ( 33 )
6-1	ポンプ水車の概念	( 33 )
6-2	ポンプ水車の問題点と計画について	( 35 )
6-3	ポンプ水車の現状と将来	( 37 )
(予稿) 最近のポンプ水車		( 37 )
6-1	まえがき	( 37 )
6-2	ポンプ水車の問題点と計画について	( 38 )
6-3	ポンプ水車の現状と将来	( 39 )
6-4	結言	( 39 )
7	最近の発電電動機について	藤井義良氏 ( 41 )
7-1	発電電動機の製作容量限界	( 41 )
7-2	直接水冷方式	( 42 )
8	最近の揚水発電所制御について	梅名茂男氏 ( 44 )
8-1	大容量機の起動方式	( 44 )
8-2	保守の省力化	( 48 )
8-3	技術革新	( 49 )
○ 全般にわたっての討論		( 49 )
永瀬直昭氏	阿南恒俊氏	( 49 )
渡瀬健二氏	秋元徳三氏	( 50 )
	長沼進氏	( 50 )
関根泰次氏	吉本太司夫氏	( 51 )
	吉田確太氏	( 51 )
梅名茂男氏	関根泰次氏	( 51 )
	長沼進氏	( 52 )
閉会挨拶	吉田確太氏	( 53 )
昭和46年度事務並びに事業報告		( 55 )
電気協同研究会概要		( 61 )